

## 「プライベート優先」「転職・独立に関心あり」が過去最高 理想の上司、1位：鈴木一郎（イチロー）さん、2位：水ト麻美さん

- ◇調査名：「2022年 新入社員意識調査」
- ◇調査時期：3月28日(月)～4月15日(金)
- ◇調査対象：当社が滋賀県内で開催した新入社員研修の受講者
- ◇有効回答数：421人〔男性248人（58.9%）、女性173人（41.1%）〕

当社は毎年、3月末から4月にかけて、当社が滋賀県内で開催した新入社員研修の受講者を対象に意識調査を実施しています。今年は421名から有効回答を得ました。

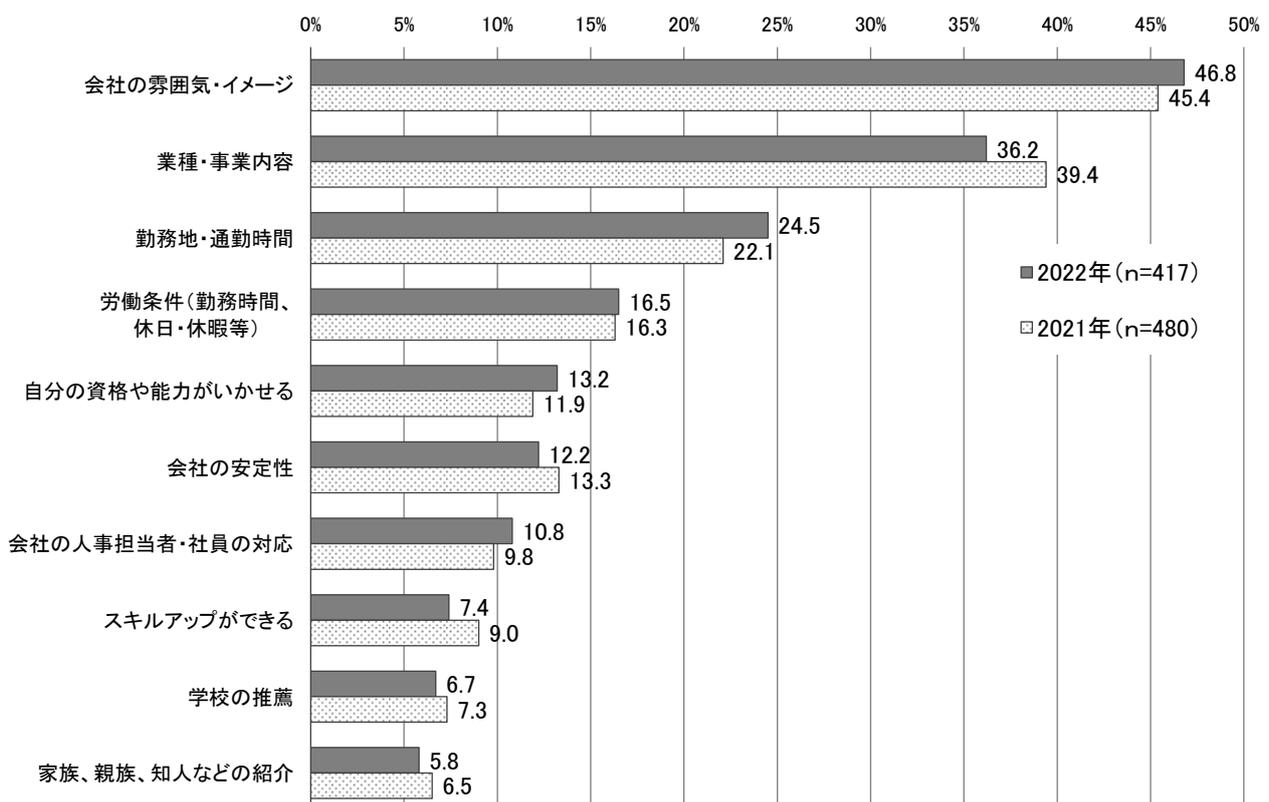
入社動機トップは、「会社の雰囲気・イメージ」（46.8%）でした。仕事よりも「プライベート優先（「どちらかといえば」を含む）」（75.5%）は、2004年の調査開始依頼、過去最高となりました。就職した企業に「定年まで勤めたい」（44.9%）は2年連続で5割を切り、「転職・独立」に関心を持つ人は36.1%で過去最高となりました。

※なお、過去データとの比較において、2020年調査結果は掲載していない（新型コロナウイルス感染症の影響で調査時期が例年と異なり、また、有効回答数も少なかったため）。

### ▶入社動機は「会社の雰囲気・イメージ」が4割超

「入社を決めた主な動機」（複数回答）は、「会社の雰囲気・イメージ」（46.8%）が最も高く、次いで「業種・事業内容」（36.2%）となった。

図表1 入社を決めた主な動機 上位10項目（複数回答）

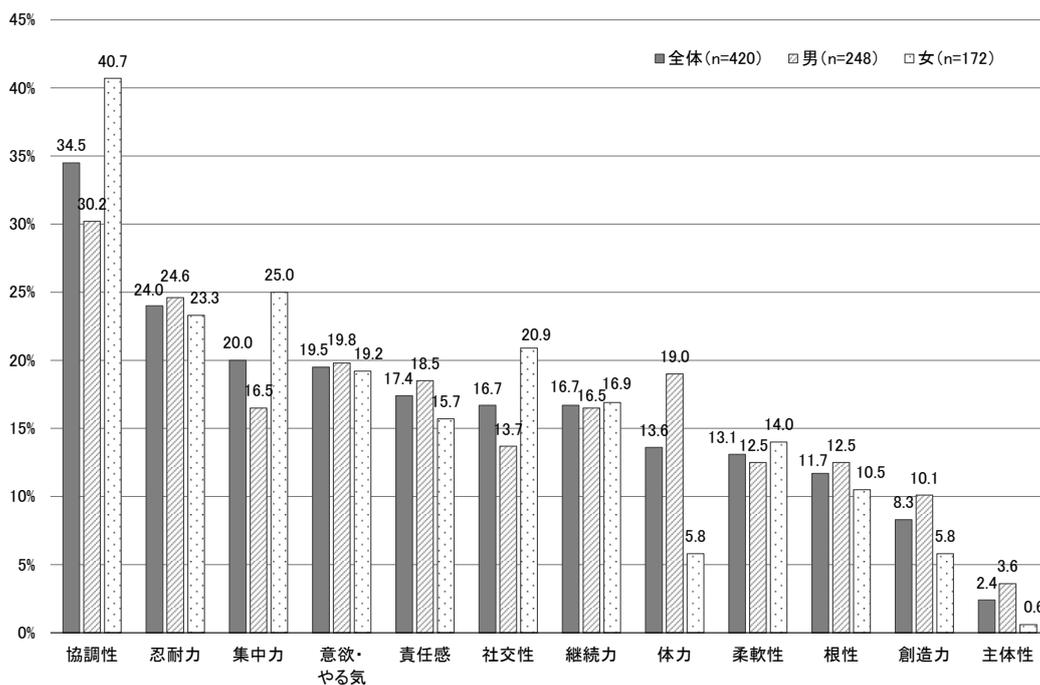


## ▶自信があるのは「協調性」「忍耐力」、不足しているのは「創造力」「柔軟性」

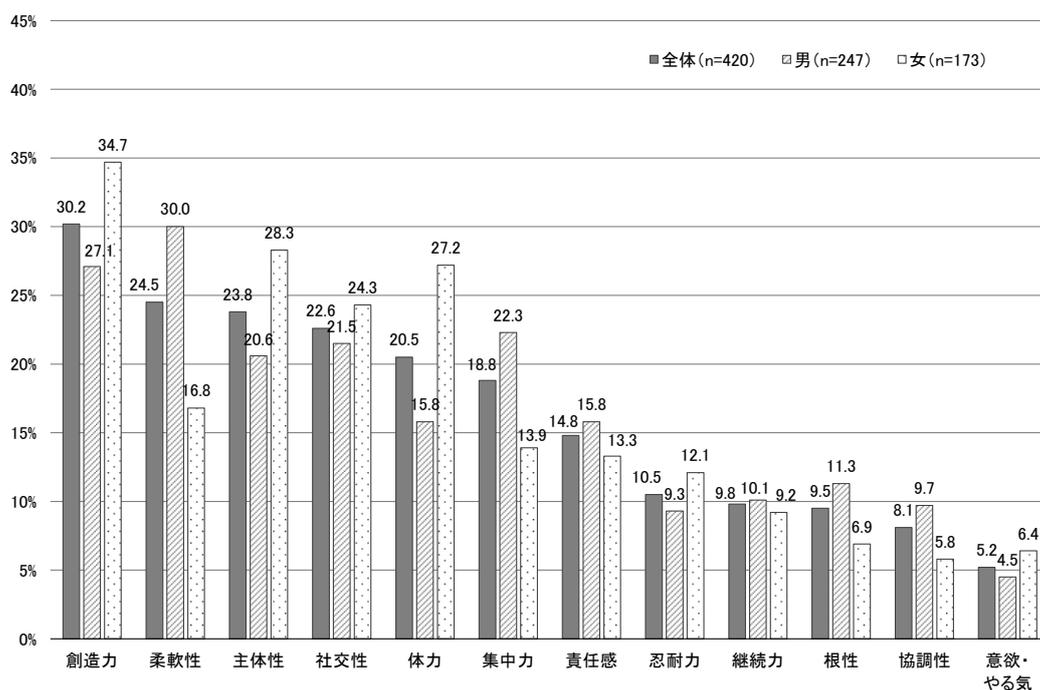
「社会人として『自信が持てる』もの」（複数回答）は、全体では「協調性」（34.5％）が最も高く、次いで「忍耐力」（24.0％）となった。男女別では、女性は「協調性」（40.7％）が突出して高く、「集中力」（25.0％）、「社交性」（20.9％）とともに男性を大きく上回った。男性も「協調性」（30.2％）が最も高くなり、「体力」（19.0％）で女性を大きく上回った。

一方、「社会人として『不足している』もの」（複数回答）は、全体では「創造力」（30.2％）が最も高く、次いで「柔軟性」（24.5％）となった。男女別では、女性は「創造力」（34.7％）、「主体性」（28.3％）、「体力」（27.2％）で男性を大きく上回り、男性は「柔軟性」（30.0％）、「集中力」（22.3％）で女性を大きく上回った。

図表 2 - 1 社会人として「自信が持てる」もの [男女別] (複数回答)



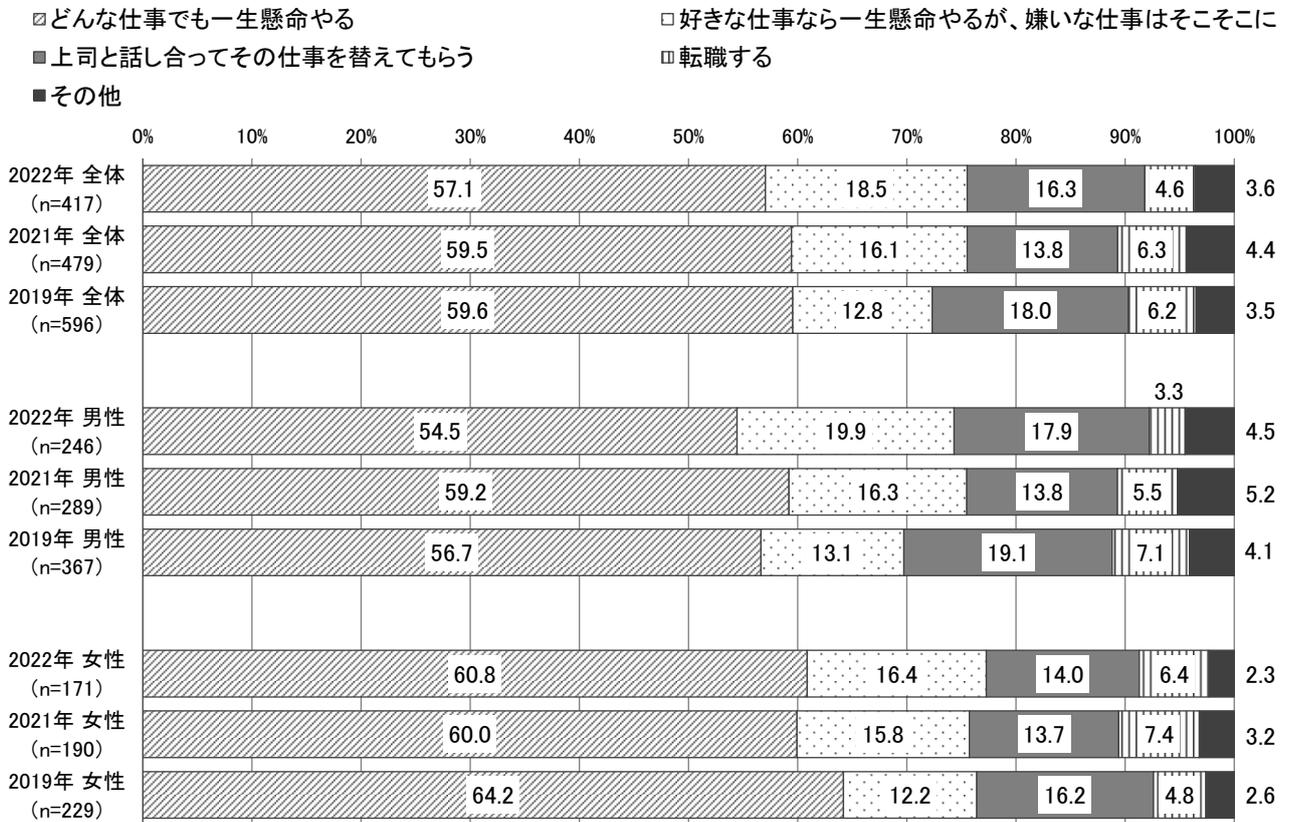
図表 2 - 2 社会人として「不足している」もの [男女別] (複数回答)



## ▶ 「どんな仕事でも一生懸命やる」が約6割

「与えられた仕事が自分に合わないと思えるときはどうするか」は、「どんな仕事でも一生懸命やる」（57.1％）が最も高く、次いで、「好きな仕事なら一生懸命やるが、嫌いな仕事はそこそこに」（18.5％）となった。男女とも「どんな仕事でも一生懸命やる」が最も高かったが、女性（60.8％）が男性（54.5％）をやや上回った。

図表3 仕事が自分に合わないときはどうするか（複数回答）



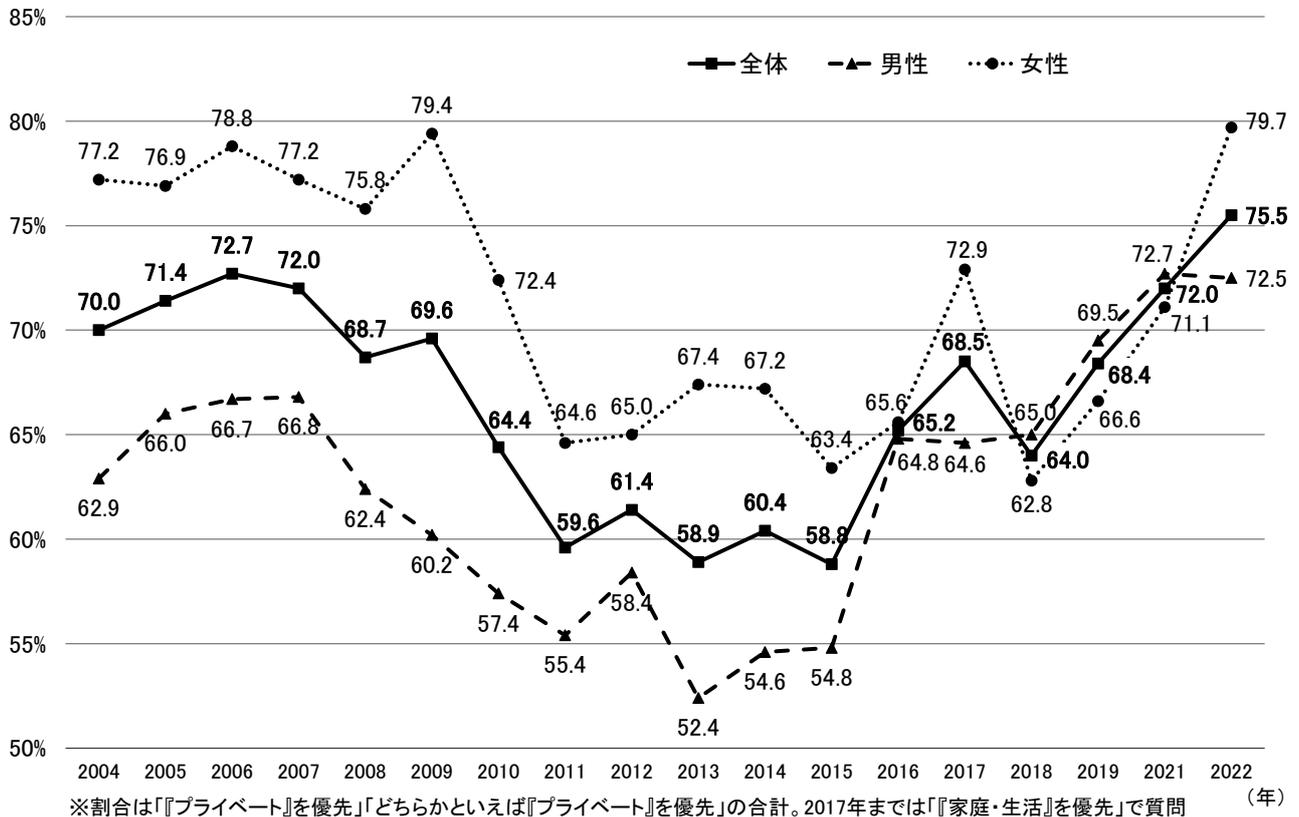
※2020年調査結果は掲載していない(新型コロナウイルス感染症の影響で調査時期が例年と異なり、また、有効回答数も少なかったため)。

## ▶ 「プライベート優先」が過去最高に

『仕事』と『プライベート』のどちらを優先した生活を送りたいかは、「プライベート優先（「どちらかといえば」を含む）」が75.5%で、2004年の調査開始以来、最も高くなった。

男女別では、「プライベートを優先（「どちらかといえば」を含む）」は、女性が79.7%で調査開始以来、最も高くなった。男性は72.5%で、過去最高となった昨年（72.7%）から微減となった。

図表4 「『プライベート』を優先」する割合の推移（男女別）

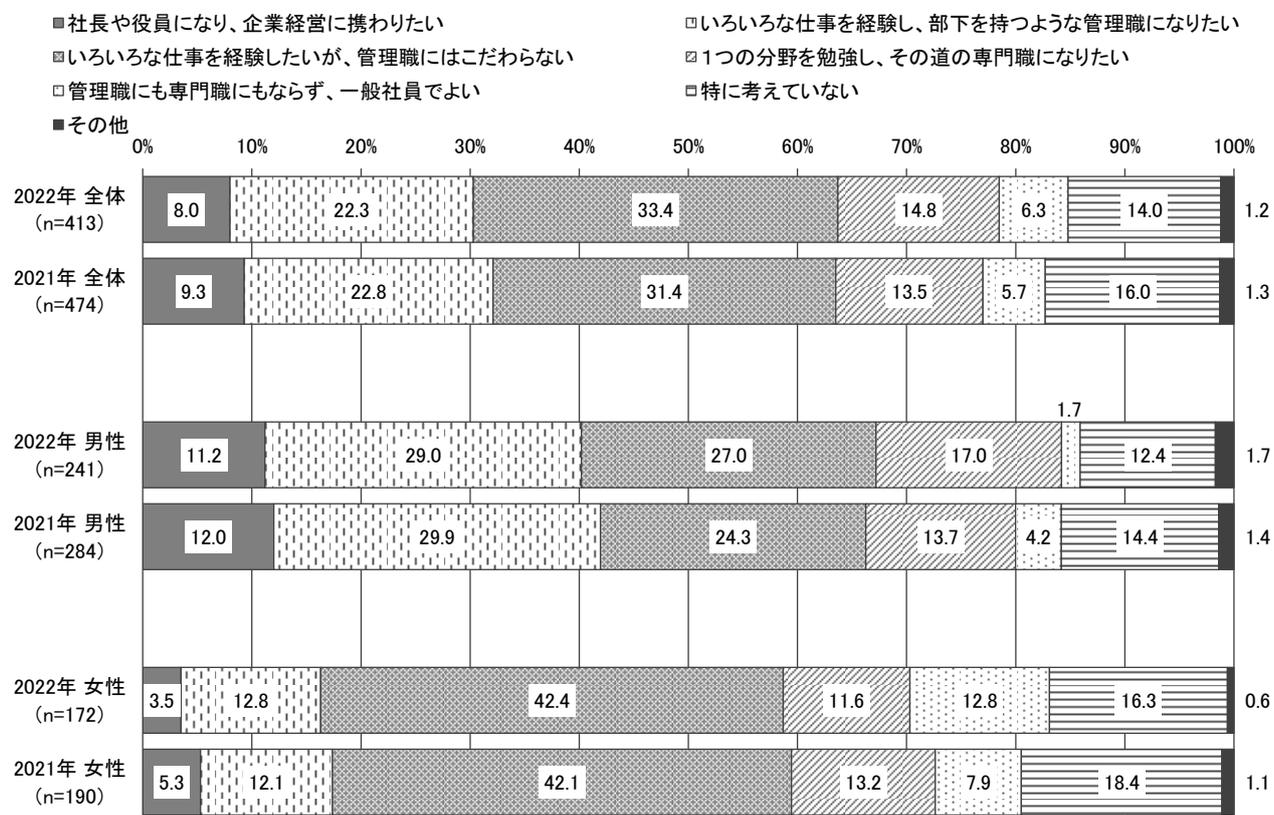


※2020年調査結果は掲載していない(新型コロナウイルス感染症の影響で調査時期が例年と異なり、また、有効回答数も少なかったため)。

## ▶ 社会人として歩みたい道は、「管理職にはこだわらない」が3割超

「社会人としてどのような道を歩みたいか」は、全体では「いろいろな仕事を体験したいが、管理職にはこだわらない」（33.4%）が最も高く、次いで「いろいろな仕事を体験し、部下を持つような管理職になりたい」（22.3%）、「1つの分野を勉強し、その道の専門職になりたい」（14.8%）となった。

図表5 社会人としてどのような道を歩みたいか



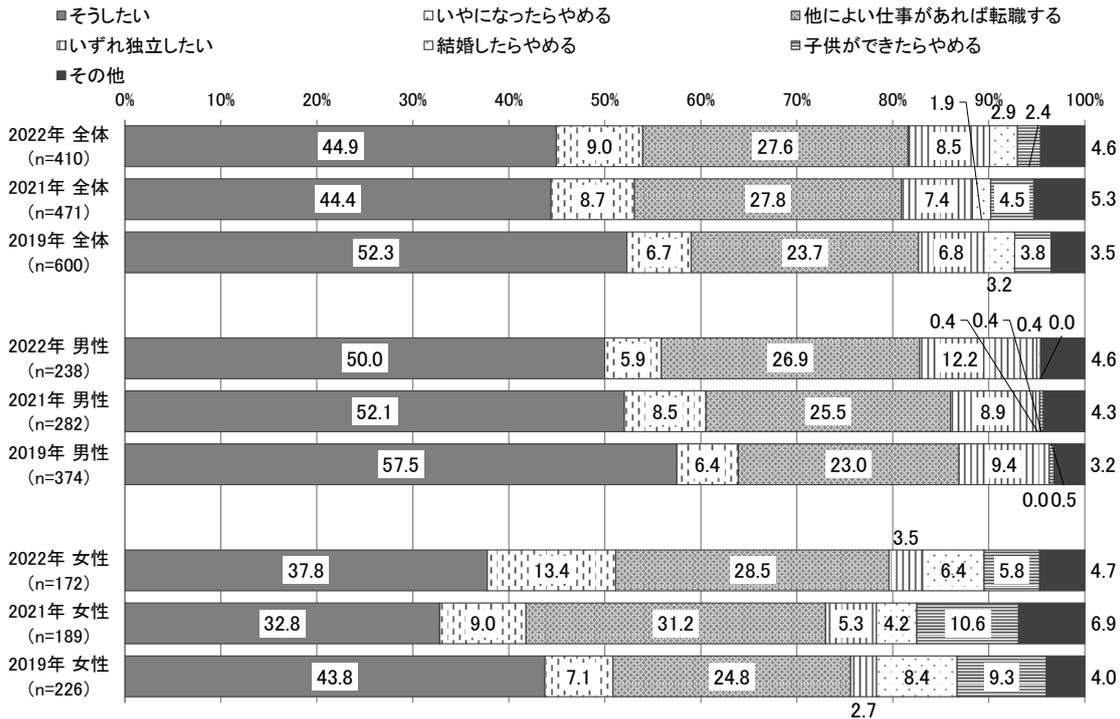
## ▶ 「定年まで勤めたい」が4割超も、「転職・独立に関心あり」が過去最高に

入社する会社に「定年まで勤めたいか」は、全体では「そうしたい」（44.9％）が最も高くなったものの、2年連続で5割を切った。次いで高いのは「他によい仕事があれば転職する」（27.6％）となった。

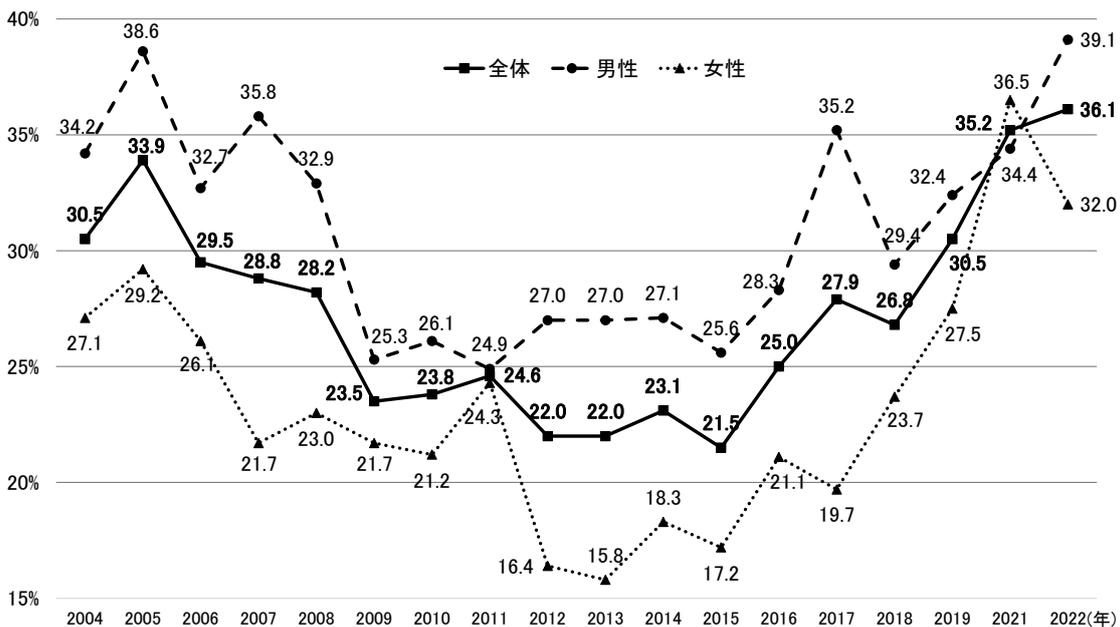
男女とも「そうしたい」（＝定年まで勤めたい）が最も高くなったが、前年に比べて男性は減少（52.1％→50.0％）、女性は増加（32.8％→37.8％）した。

また、「他によい仕事があれば転職する」と「いずれ独立したい」を合計した「転職・独立に関心あり」（36.1％）は2004年の調査開始以来、最も高くなった。前年に比べて、男性は増加（34.4％→39.1％）して過去最高となったが、女性は減少（36.5％→32.0％）した。

図表6-1 定年まで勤めたいか



図表6-2 「転職+独立」割合の推移（男女別）



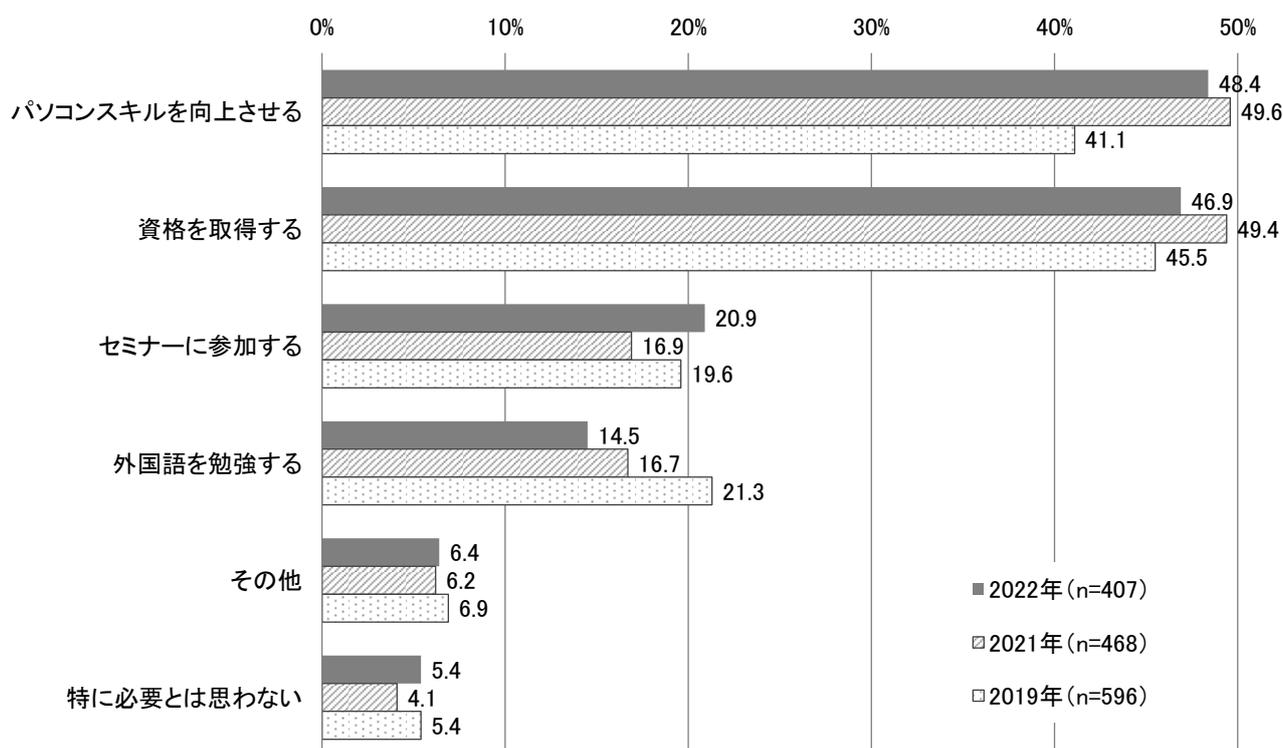
※(図6-1、2とも)2020年調査結果は掲載していない(新型コロナウイルス感染症の影響で調査時期が例年と異なり、また、有効回答数も少なかったため)。

## ▶技能・能力アップに必要な勉強、約半数が「パソコンスキル向上」「資格取得」

「自分自身の技能や能力アップのために、どのような勉強が必要か」（複数回答）は、「パソコンスキルを向上させる」（48.4％）が最も高く、次いで高い「資格を取得する」（46.9％）も同程度を占めた。

「資格を取得する」では、建築士（一級・二級を含む）や施工管理技士、簿記等の検定試験など、業種によっては具体的な回答があった。また、「外国語を勉強する」（14.5％）の割合は近年、低下傾向にあるが、具体的記述では、「英語」が35人で突出して多く、次いで「中国語」4人となった。

図表7 技能や能力アップのために必要だと思う勉強（複数回答）

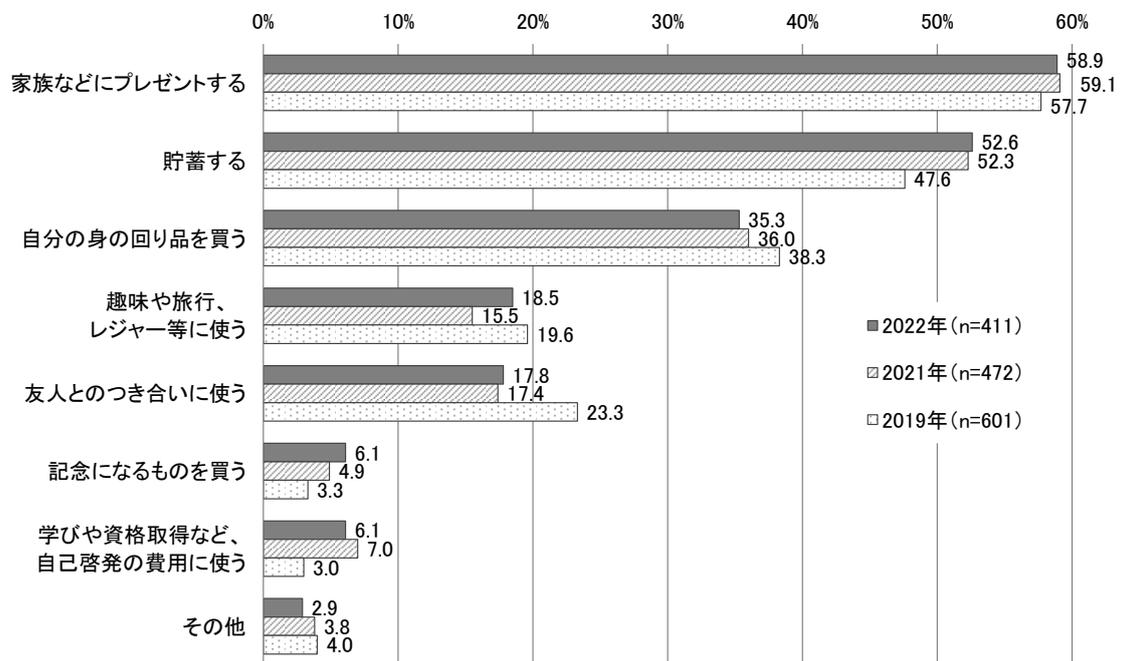


※2020年調査結果は掲載していない（新型コロナウイルス感染症の影響で調査時期が例年と異なり、また、有効回答数も少なかったため）。

## ▶初めての給料は、「家族などにプレゼント」「貯蓄」

「初めての給料の使いみち」（複数回答）は、「家族などにプレゼントする」（58.9%）が最も高く、次いで「貯蓄する」（52.6%）、「自分の身の回り品を買う」（35.3%）となった。

図表8 初めての給料の使いみち（複数回答）



※2020年調査結果は掲載していない（新型コロナウイルス感染症の影響で調査時期が例年と異なり、また、有効回答数も少なかったため）。

## ▶理想の上司、男性：鈴木一郎（イチロー）さん、女性：水ト麻美さん

「理想とする上司像を有名人に例えると」（フリーアンサー）に対して、有名人1人の名前を回答してもらったところ、1位は元メジャーリーガーの鈴木一郎（イチロー）さん（回答数15人）、2位はアナウンサーの水ト麻美さん（同14人）となった。

選んだ理由は、鈴木一郎さんは「目標ややり方をはっきり示してくれそう」（同9人）が最も多く、次いで「率先して手本を見せてくれそう」「頼りになりそう」（ともに同5人）となった。水ト麻美さんは「優しく丁寧に指導してもらえそう」と「面倒見がよく、何でも相談できそう」（ともに同8人）が最も多くなった。

図表9 理想とする上司像 上位10位（2022年）

| 順位 | 氏名         | 回答数(人) |
|----|------------|--------|
| 1  | 鈴木一郎(イチロー) | 15     |
| 2  | 水ト麻美       | 14     |
| 3  | 明石家さんま     | 11     |
| 4  | 内村光良       | 9      |
|    | 新庄剛志       |        |
| 6  | 櫻井翔        | 8      |
| 7  | 天海祐希       | 7      |
|    | 本田圭佑       |        |
|    | マツコ・デラックス  |        |
| 10 | 松岡修造       | 6      |
|    | 松本人志       |        |
|    | ムロツヨシ      |        |

※有名人1名をフリーアンサーで回答

以上